

放課後等デイサービスガイドラインによる自己評価について

2023年 1月
放課後等デイサービスハート

放課後等デイサービスの質の向上と支援内容の適正化を図る為、放課後等デイサービスに基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率：保護者67%（35名/52名：回収数/配布数）

《調査からの読み取り・改善点》

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置数や専門生についてはどの程度か分らない。 ・療育室での活動と広さが調和されているか分らない。 ・職員の配置数が何人いるのか分らない。 ・1人1人の職員のプロフィールが知りたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞やHPでスタッフとの様子も掲載していき職員の認識をもてるよう改善していきたい。 ・内部研修の開催や、個人での外部研修の時間を積極的に設け、職員の専門性の向上に努める。 ・段差等の障害物はないが、活動の妨げになる物は必要に応じて撤去していく。 ・指定基準のスペースは確保出来ている。
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会は、希望していないので必要ないです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症拡大の影響などの観点から現在は計画していない。 ・毎月のスタッフ会議で月のイベントや仕事を話し合い、活動プログラムを職員全体で立案している。
保護者への説明等	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の事業所を併用しており、学校での保護者の交流もあるのでこちらで十分だと思う。（父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているかについて） ・出来ていることと出来ていないことを、もう少し知りたいです。 ・こちらからの疑問に対して、とても丁寧に説明してくださいありがとうございます。 ・保護者会等は希望していないので必要ありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の際必ず説明をすると同時に、分かりやすく別紙にまとめ、保護者様への説明を行っている。希望があった際にはその都度説明を行っている。 ・SNSを利用し、気軽に連絡を取り合えるよう引き続き努めている。 ・多角的な視点で児童を見守っていけるよう、連絡帳の記載は同じ職員だけにならないよう配慮していきたい。 ・保護者様との意見交換等の場合は、現在設けておりませんが、必要に応じて児童の様子や支援方法について話し合う機会を設けていけるよう工夫していきたい。 ・父母の会や保護者会等の機会設定は感染症拡大の影響から現在は出来ておりませんが、今後そのようなコミュニケーションの場を設ける検討をしていきたい。 ・苦情等があった場合には迅速に対応できるよう、努めている。 ・普段から、疑問に感じた点、ご意見を上げやすい雰囲気作りに努めている。 ・前月に新聞や予約表等で、イベントや行事のお知らせを行い、活動に楽しんで参加して頂けるよう努めている。 ・毎月の新聞や動画をHPに掲載し、普段の様子をお伝え出来るよう努めている。 ・契約の際、個人情報に関する説明を行い、同意書にサインを頂いている。 ・写真等の個人情報の取り扱いには職員全体で細心の注意を払っております。
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止として何を行っているのか知りたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玩具や療育室の消毒を実施、手洗いうがいや換気をこまめに行い、マスクの着用を呼び掛けている。引き続き継続していく。 ・昼食等、マスクを外す際は向かい合わせにならないよう工夫している。 ・毎年2度、避難訓練を実施し緊急時の動きに慣れて頂くよう訓練を行いながら、避難場所、避難経路の確認を実施。
満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から柔軟な対応をして頂いています。 ・いつも楽しみにしています。 ・子供の状況を見て公園にも行ってくださり助かっています。 ・毎回楽しみにしていて、機嫌良く帰ってきます。 ・とても丁寧に真剣に根気良く向き合ってください感謝しています。 ・とても楽しんでいて、帰宅時はご機嫌です。 ・いつも支えて頂いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が楽しく参加出来るような月ごとのイベントや行事の設定に努めています。 ・児童間での不調和から、適所を楽しみにできない可能性も念頭に置き、支援の見直しを常に行っていききたい。 ・児童だけでなく、保護者の皆様にもご理解頂けるよう努めている。 ・日々、成長と変化を繰り返す児童に関わる喜びを常に実感しながら、職員全体でより良い時間を提供できるよう努めていきたい。 ・一事業所で支援を完結するのではなく、ご家族及び関係諸機関との連携を行い、常に支援の在り方を見直しを行っていく。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所では「同性介助」を行っております。主に排泄の場に限られますが、職員同士で声掛けを行い、出来る限り「異性での支援」は行わないように配慮している。ただ、異性との交流によって情緒性、精神的な成長も視野に入れているため、活動においての男女を明確に区別した対応は行っていません。 ・サービス、環境の性質上、見えにくいことが多く、不安になることも時々あるかとは思いますが、そのような不安を少しでも軽くしていけるような活動を努めてまいります。 ・虐待についての報道をよく耳にしますが、当事業所ではそのような報道を会議等で話し合いを行い、常に他人事ではないよう職員全体の危険意識を高めて支援を行い利用者様との関りを持っている。